

DERWENT-ACC-NO: 1996-340271

DERWENT-WEEK: 199634

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Landscape gardening method -
involves division of whole
gardening process into three
different semi-finish
process

PATENT-ASSIGNEE: KOTOBUKI KENZAI KK[KOTON]

PRIORITY-DATA: 1994JP-0304118 (December 8, 1994)

PATENT-FAMILY:

| PUB-NO | PAGES | PUB-DATE | |
|---------------|-------------|---------------|-----|
| LANGUAGE | | MAIN-IPC | |
| JP 08158667 A | | June 18, 1996 | N/A |
| 005 | E04H 001/00 | | |

APPLICATION-DATA:

| PUB-NO | APPL-DESCRIPTOR | APPL-NO |
|--------------|------------------|---------|
| APPL-DATE | | |
| JP 08158667A | N/A | 1994JP- |
| 0304118 | December 8, 1994 | |

INT-CL (IPC): E04H001/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 08158667A

BASIC-ABSTRACT:

The method performs division of gardening into three semi-finished states, sequentially. By selecting the two finished state or semi-finished state, gardening plan process is executed.

This step involves the first garden creation process. In the second garden creation process, additional semi-finish process plans are executed.

Best Available Copy

ADVANTAGE - Makes construction conform to set budget.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/5

TITLE-TERMS: LANDSCAPE GARDEN METHOD DIVIDE WHOLE GARDEN
PROCESS THREE SEMI
FINISH PROCESS

DERWENT-CLASS: Q46

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1996-286363

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-158667

(43)公開日 平成8年(1996)6月18日

(51)Int.Cl.⁸

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

E 0 4 H 1/00

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全5頁)

(21)出願番号 特願平6-304118

(22)出願日 平成6年(1994)12月8日

(71)出願人 594192039

コトブキ建材株式会社

大阪市西区北堀江1丁目3番3号

(72)発明者 田村 謙之助

大阪市西区北堀江1丁目3番3号 コトブ
キ建材株式会社内

(72)発明者 西村 建依

大阪市西区北堀江1丁目3番3号 コトブ
キ建材株式会社内

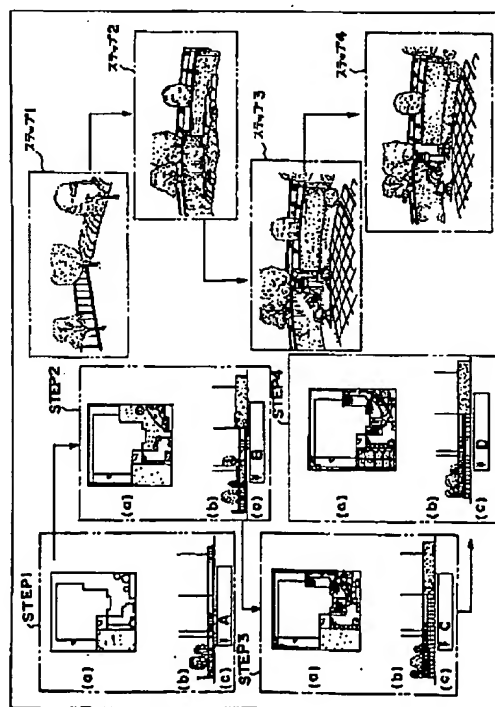
(74)代理人 弁理士 佐々木 宗治 (外3名)

(54)【発明の名称】 造園方法

(57)【要約】

【目的】 予算に合わせた計画的な施工ができると共に、最終的な完成状態を知ることができる造園方法を提供する。

【構成】 造園が最終の完成状態に至るまでを3段階の準完成状態に分け、この3つの準完成状態はそれぞれ完成度の低い準完成状態に順次追加の造成を行って完成度を増して行くように構成されている造園計画工程と、造園計画工程で計画された3つの準完成状態の中からいずれかの状態を選択して計画に基づいて造成を実行する第1造成工程と、より完成度の高い準完成状態または完成状態を実現するために追加の造成を行う第2造成工程とを備えた。



GARDEN CREATION PROCESS

【特許請求の範囲】

【請求項1】 造園が最終の完成状態に至るまでを複数段階の準完成状態に分け、この複数の準完成状態はそれぞれ完成度の低い準完成状態に順次追加の造成を行って完成度を増して行くように構成されている造園計画工程と、

該造園計画工程で計画された前記完成状態又は複数の準完成状態の中からいずれかの状態を選択して前記計画に基づいて造成を実行する第1造成工程と、

該第1造成工程により選択した状態が準完成状態である場合に、より完成度の高い状態のものを実現するために追加の造成を行う第2造成工程とを備えたことを特徴とする造園方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は造園方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】かつて家屋の建築は施主と出入りの棟梁とが幾度となく構想を検討し、材料を吟味し、長い年月を掛けて施工したもので、工事費用も非常に高額となり誰でも手掛けられるものではなかった。ところが、近年、予め計画された幾通りかの施工プランの中から施主の気に入ったものを選択し、選択された施工プランに基づいて予め作られた部材を組み合わせて施工するプレハブ方式が考案され、一般住宅にもこの方式が普及している。このため、面倒な設計手順が省略されて簡易な建築方法になり、工事費用も前者とは比べものにならない程安価で提供されるようになった。そのため施主もいわゆる金持ちではなく、従来は考えられなかった若いサラリーマンでも、住宅を容易に入手することが可能となった。

【0003】一方、家屋に付随する庭園についても上記の家屋の場合と同様に、施主と出入りの庭師との協議により庭作りがなされてきた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところが、住宅が上述のようにプレハブ方式に変化してきたにもかかわらず庭づくりでは未だに従来通り、各庭毎に施主と出入りの庭師との協議により成り行きまかせで行われていた。そのため、計画的な造園ができず造園費用も高額となり、庭づくりに対する不安と不満が存在していた。

【0005】本発明はかかる課題を解決するためになされたものであり、予算に合わせた計画的な施工ができると共に、最終的な完成状態を知ることができる造園方法を提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明に係る造園用方法は、造園が最終の完成状態に至るまでを複数段階の準完成状態に分け、この複数の準完成状態はそれぞれ完成度

の低い準完成状態に順次追加の造成を行って完成度を増して行くように構成されている造園計画工程と、該造園計画工程で計画された前記完成状態又は複数の準完成状態の中からいずれかの状態を選択して前記計画に基づいて造成を実行する第1造成工程と、該第1造成工程により選択した状態が準完成状態である場合に、さらに完成度の高い状態のものを実現するために追加の造成を行う第2造成工程とを備えたものである。

【0007】

【作用】上記のように構成された造園方法においては、造園計画工程において、造園が最終の完成状態に至るまでを複数段階の準完成状態に分けて計画する。また、第1造成工程においては造園計画工程で計画された前記完成状態又は複数の準完成状態の中からいずれかの状態を選択して計画に基づいて造成を実行する。さらに、第2造成工程においては第1造成工程により選択した状態が準完成状態である場合に、より完成度の高い状態のものを実現するために追加の造成を行う。

【0008】

【実施例】図1は本発明の一実施例の造園方法の説明図であり、図中左側にはグレードの低いものから順にSTEP1～STEP4の4つのステップで示し、STEP4が完成状態をSTEP1～STEP3が準完成状態をそれぞれ示している。そして、各ステップには屋敷の平面図、側面図及び造園費用を一組として記載し、図中右側には図中左側に示した各ステップにおける庭を最もよく示す部分の斜視図を、STEP1～STEP4に対応させてステップ1～ステップ4として示している。図2、図3は図1におけるSTEP1～STEP4の、また、図4、図5はステップ1～ステップ4の各ステップの内容を拡大して示す拡大図である。

【0009】以下、図1乃至図5に基づいて本実施例を説明する。STEP1において、(a)は平面図、

(b)は右側面図、(c)は造園費用を示している。また、図において、1は住宅、2は住宅1とフェンス3との間に設けられた園地であり、この園地2に後述する植木等を植えて造園を行うものである。5はガレージであり、碎石を敷き詰めてある。7は門扉、9は門扉7の両側に立設された門柱、11は門柱9の両側に配置された低木寄植である。13は低木寄植11の近傍に植えられた高木であり、このSTEP1では高木13は4本植えられている。15は門扉7から住宅1の玄関に至るアプローチである。(c)図における造園費用は¥Aと表示されているが、これは後述するSTEP2～STEP4の造園費用に比較して最も安価に設定されている。このように、STEP1では比較的低価格で造園を行うものであり、なおかつ準完成状態ではあるが庭園としての体をなしているものである。

【0010】次に、STEP2について説明する。STEP2ではSTEP1のものに以下のものを増設したも

3

のである。すなわち、フェンス3に沿って生垣17を設け、また3本の高木19を増植し、さらに、ガレージ5とアプローチ15との隙間に低木21を5本所定間隔を離して植えている。また、園地2の図中右下部には円弧上低木寄植23と花25を植え、景石27を載置している。さらに、アプローチ15をレンガ敷きにしている。なお、造園費用は¥Bに設定してあり、¥Bは¥Aよりも高額に設定してある。このように、STEP2ではSTEP1を前提として追加の造成を行い、より庭園の内容を充実させたものである。

【0011】次に、STEP3について説明する。STEP3ではSTEP2のものに以下のものを増設している。すなわち、図中左上部の園地に高木29を3本増植し、また低木寄植11の近傍に高木31を2本増植している。また、図中右部の園地に大名竹33を植え、景石27の近傍に灯籠34を設置している。さらに、園地2の図中右下部を石敷35にし、その一部には切石37による模様を作っている。また、造園費用は¥Cに設定してあり、¥Cは¥Bよりも高額に設定してある。このように、STEP3ではSTEP2を前提として、さらに庭園の内容を充実させ、庭園としての完成度を高めたものである。なお、STEP3及び後述するSTEP4については、図が複雑になるのを防止するためにそれぞれのSTEPで追加されたものについてのみ符号を付している。

【0012】次に、STEP4について説明する。STEP4ではSTEP3のものに、ガレージ5の床をレンガ敷39にし、ガレージに屋根41を設けるたものである。また、造園費用は¥Dに設定してあり、¥Dは¥Cよりも高額に設定してある。このように、STEP4ではSTEP3を前提として、さらに庭園の内容を充実させ、最終的な完成状態を示したものである。

【0013】本実施例によれば、造園費用に応じて4段階の造園プランを造園費用と共に示しているので、低額

4

の段階からスタートして予算ができ次第順次高額の段階へと計画的に造園することができる。

【0014】なお、上記実施例では造園費用に応じた4段階の造園プランを造園費用と共に示し、順次グレードアップして造成する場合について説明したが、本発明はこれに限られるものではなく、STEP1からSTEP2を飛ばしてSTEP3に進んでもよく、またSTEP1から始めるのではなく、STEP2から始めるようにしてもよい。すなわち、造園の計画段階において最終の完成状態に至るまでを複数の準完成状態に分けて計画し、この複数の準完成状態のいずれかを經由し、または經由せずに最終的な完成状態の造成を行うようにすればよい。なお、4段階の造園プランではなく、例えば2段階、3段階あるいは5段階以上の造園プランであってもよい。

【0015】

【発明の効果】以上説明したように、本発明においては、最終の完成状態に至るまでを複数の準完成状態に分けて計画し、この複数の準完成状態のいずれかを經由し、または經由せずに最終的な完成状態の造成を行うようにしたので、予算に合わせた計画的な施工ができると共に最終的な完成状態を知ることができ、施主にとって安心して造園を依頼することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の説明図である。

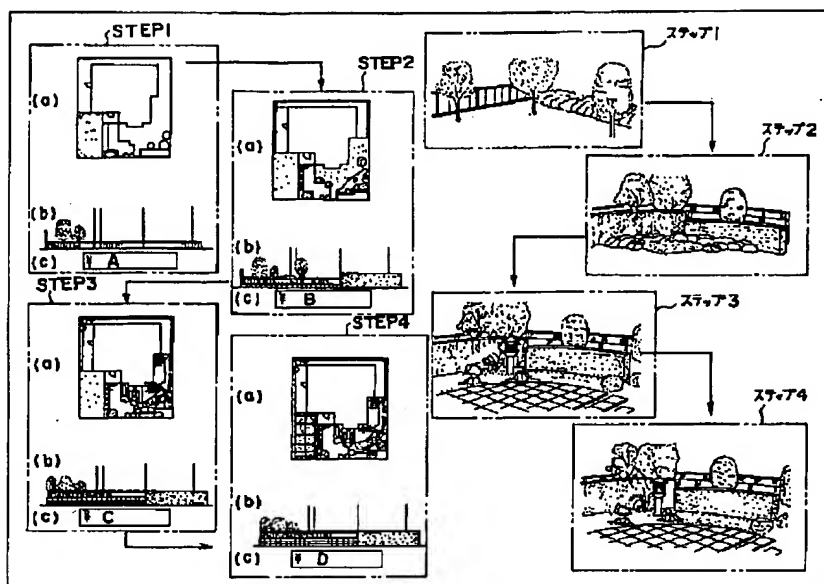
【図2】図1におけるSTEP1、STEP2を拡大して示す拡大図である。

【図3】図1におけるSTEP3、STEP4を拡大して示す拡大図である。

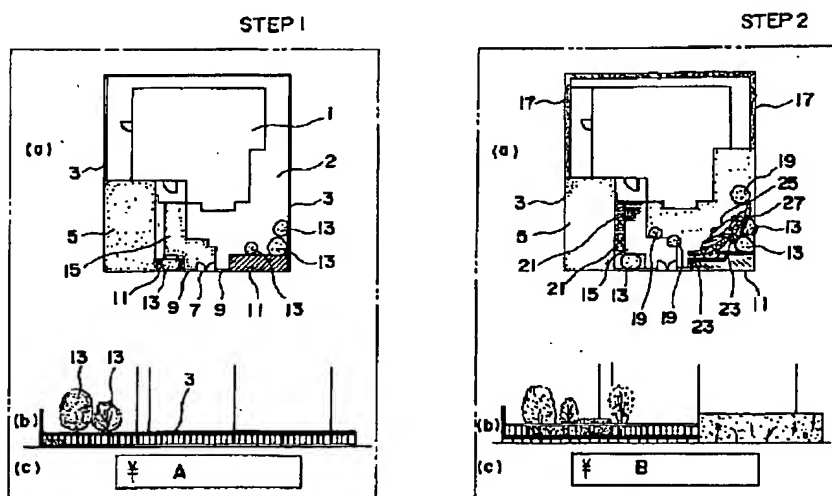
【図4】図1におけるステップ1、ステップ2を拡大して示す拡大図である。

【図5】図1におけるステップ3、ステップ4を拡大して示す拡大図である。

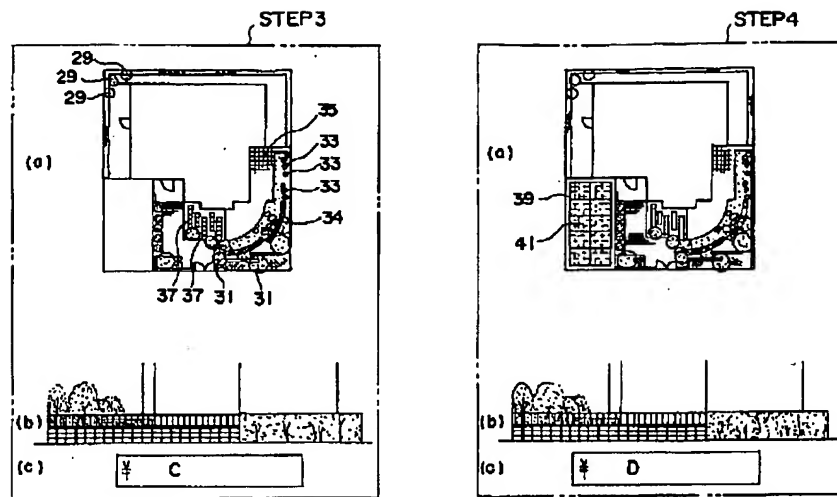
【図1】



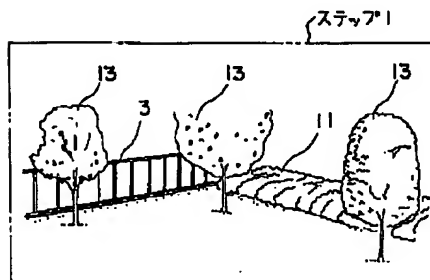
【図2】



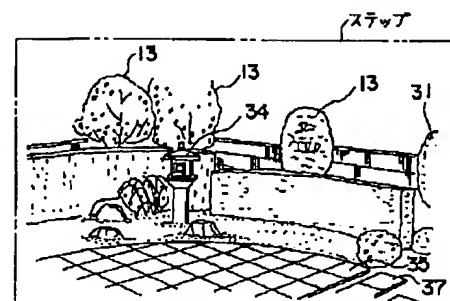
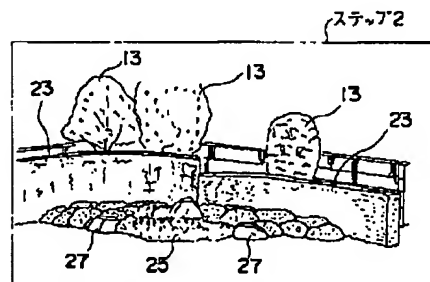
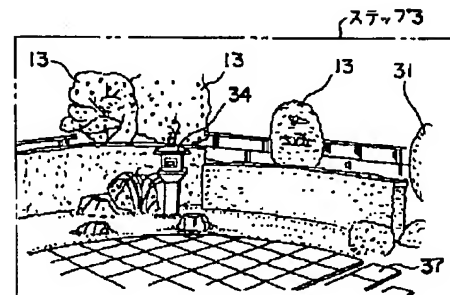
【図3】



【図4】



【図5】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.